

令和3年度災害対応事案における市の帰宅困難者対応と課題

令和4年6月1日

千葉市総務局危機管理部防災対策課

1 令和3年10月7日千葉県北西部地震について

(1) 地震の概要

①発生年月日

令和3年10月7日(木)22時41分頃

②震源

千葉県北西部

③規模

マグニチュード5.9 (国内最大震度5強)

④千葉市内震度

| 中央区 | 花見川区 | 稲毛区 | 若葉区 | 緑区 | 美浜区 |
|-----|------|-----|-----|----|-----|
| 5弱 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

(2) 市の対応経過

| 日時 | 対応(千葉駅周辺の帰宅困難者対策にかかる部分を抜粋) |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10/7(木) 22時41分 | 地震発生⇒災害警戒本部(警戒配備)設置 |
| 23時35分頃 | ・JR千葉駅、京成千葉駅、千葉都市モノレールへ電車運行状況、駅内滞留者の状況を確認。 ⇒【JR】総武線が運転見合わせ、現時点で再開見込み無し。 駅内滞留者あり。 【京成】千葉線で運転見合わせ。駅内滞留者無し。 【千葉都市モノレール】ダイヤの遅れが出ているが、運行中。 |
| 23時50分頃 | 帰宅困難者を受け入れる場合に備え、千葉市市民会館、蘇我コミュニティセンターの開設準備を開始。 |
| 10/8(金) 0時18分頃 | 千葉県庁を一時滞在施設として開設可能か、千葉県へ確認。 ⇒可能との回答。 |
| 0時40分頃 | 千葉市市民会館の開設した旨、JR東日本千葉支社に連絡。 ⇒施設への駅内滞留者等の誘導は、JR側の判断で必要に応じて行うこととなった。 |
| 1時00分頃 | ・蘇我コミュニティセンターを開設。 ※千葉県庁は開設できる準備を行ったが、開設は行わなかった。 |
| 1時45分頃 | JR千葉駅へ電車運行再開見込みの確認。 |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------|
| | ⇒運転再開見込み(3時頃予定)があることから、開設施設への滞留者誘導は行わず、JR側(駅内での滞留者待機等)で対応することとなった。 |
| 4時00分頃 | 市民会館・蘇我コミュニティセンターの受入待機体制解除。 ※結果として、帰宅困難者の受け入れは行っていない。 |
| 4時30分頃～ | JR線の順次運転再開を確認。 |
| 7時33分頃 | JR千葉支社管内の全線運転再開を確認 |
| 11時00分 | 災害警戒本部(警戒配備)体制解除 |

2 令和4年1月6日に発生した大雪対応について

(1) 災害の概要

①発生年月日

令和4年1月6日(木)16時34分

千葉市に大雪警報が発表

②積雪状況

市内最大7cm

(2) 市の対応経過

| 日時 | 対応(千葉駅にかかる部分を抜粋) |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 1/6(木) 16時00分頃 | ・JR千葉駅・京成千葉駅・千葉都市モノレールへ電車運行状況、今後の計画運休の見通しを確認。 ⇒3社ともに、現時点で計画運休の予定無し。 |
| 16時34分 | 千葉市に大雪警報発表⇒災害警戒本部(注意配備)設置 |
| 20時21分 | 千葉市の大雪警報解除⇒災害警戒本部(注意配備)体制解除 |

3 上記の災害対応を踏まえての課題

(1) 交通事業者との連絡体制の整理

市域全体の運行状況や各駅の滞留者の状況を確認するために、市から交通事業者の複数の部署へ情報収集を行ったことから、情報が錯綜した。

(2) 市内部での役割分担の明確化

JR千葉駅、JR東日本千葉支社に対し、市本部・区本部の両方から運行状況や駅構内の滞留者状況の確認をするなど、非効率な対応となった。

(3) 市の対応状況や駅滞留者への周知

市として、一時滞在施設開設等の対応をしたことや、駅滞留者に対して交通事業者の指示に従って待機することなどの周知ができなかった。